

令和6年度 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン（学校評価書）

中学校区におけるめざす子ども像

・自分のよさを知り、人とつながり協働する子 ・将来にゆめや希望を持ち、その実現に向けて粘り強く努力する子

堺市立錦西小学校

校長 藤田 美穂子

令和6年度 重点目標

学校教育目標である「心身ともに健康で、地域を愛し、共に喜び合い、自己実現をめざす児童の育成」を具現化するために、安全・安心で子ども一人ひとりが居場所のある楽しい学校づくりを目指す。
（重点取組）①「総合的な学力」を育成するためICTを効果的に活用し、多様な学びへの対応を実践 ②豊かな心の育成・笑顔あふれる学びの場づくり ③健やかでたくましい体の育成 の3つの取組を進めていく。

「確かな学び」の現状

前年度の「全国学力テスト」「すくすくウォッチ」の結果では国語、算数、理科において、全国平均を上回っており、概ね良好な結果であった。しかし、ローマ字やことわざ、故事成語の理解ができていなかったり、漢字が文中で正しく使えていなかったり、「ことば」の学習に課題が見られた。また、複数の資料から必要な情報だけを読み解き、問題の指示に従って書くことにも課題が見られた。この結果を踏まえて、朝学で前年度の基礎基本問題に取り組んで、確かな学力をより一層図る必要があると考える。また、家庭と連携し、個別最適な学習や探究的な学習を家庭学習でも取り組むことで、総合的な学力を身に付けさせたい。さらに、児童の学びの根幹を担う授業にも重きを置き、「主体的・対話的な学び」の実現に向けて、他者と関わりより良い学びを生み出す協働的な学びのある授業づくりやICTを活用した授業づくりにも学校全体で取り組んでいきたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状

・道徳教育では、授業を中心に児童の道徳的判断力を高めていくため、年に一度の研究授業を通して、道徳科の授業について話し合っていく。また、毎月の全校道徳を通して、継続して道徳心をはぐくんでいきたい。
・体力テストの結果を分析した結果、「走り幅跳び」「50m走」「ソフトボール投げ」は毎年良い記録が出ている。休み時間は、男女ともに仲良く外で鬼ごっこやドッジボールをしていることをよく見る。そのため、平均値としては全体的に上がってきている種目が多い。しかし、どの種目においても全国平均を上回る種目はなく、「握力」「上体起こし」「20mシャトルラン」が特に下回っていることから、本校の児童は筋力・体力が低いことが考えられる。体育科において、技術を身につけることは大切だが、今後はまずは体力をしっかりと高めていく必要がある。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 （●重点とする取組、★中学校区での取組）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認 （11月）	達成状況(年度末)				
								自己評価		学校関係者評価		
確かな学び	基礎・基本の定着	基礎基本の学習内容の定着を図る。	●朝学で漢字・計算練習に取り組み、基礎学力を定着させる。 ・発達段階に応じ学習言語、語彙の習得を確実に言い表現に生かす。 ・朝の読書活動の充実	・漢字・計算テスト等で正答率80%以上 ・作文等 ・宿題読書の日の定着 ・学校図書館の貸出冊数	テスト結果実施状況	学期末年度末	○	○	・朝学が定着し、漢字テスト計算テストでは成績の向上が見られた。 ・図書館の開放する時間を増やしたり、週末読書の啓発を行ったりすることで児童の読書意欲を高めることができた。 ・家庭学習の充実に向けて自学ノートの校内掲示やPCの持ち帰りにより授業とのつながりを意識させることができた。	○	・自学ノートは、子どもたちは頑張っており取り組んでいるが、取り掛かるのに難しい面もある。 ・家庭での読書推進のために、学校からの啓発は有効である。	
			「家庭学習の手引き」を定着させ、家庭学習の充実を図る。 ・授業と家庭学習のつながりを意識できるように工夫する。（自主学習ノートの充実、ICTの活用）	・“ノートグランプリ”の充実（各教科のノート指導、自主学習ノートの取組） ・PCの持ち帰り	授業観察実施状況 校内掲示状況	随時 学期末年度末	○	・自主学習は手引きをもとに、どの学年でも週に1回以上は実施している。タブレットを活用しての児童も増えてきた。高学年は毎日PCを持ち帰っている。	○			
	授業改善	ICTを効果的に活用し、「主体的、対話的で深い学び」の視点による授業を実践する。	●★ICTを活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現し、多様な学びへの対応を実践する。 ★情報活用能力を育成する。	・ICTを活用して授業を行っている ・授業形態の工夫 ・「授業はわかりやすい」で肯定的評価90パーセント以上 ・「自分に合った勉強の仕方を考えている」「学習の方法を自分で考えて進んでいる」で肯定的評価50%以上	実施状況アンケート	2学期末年度末	○	○	（学校児童アンケート）・「授業はわかりやすい」で肯定的評価92%（堺市学調）・「自分に合った勉強の仕方を考えている」では、肯定的評価は68.2%だった。子ども自身が自分に合った学びを選択できる新たな授業形態に取り組む必要性もある。 ・次年度も子どもの姿をイメージし、ICTを効果的に活用し、「主体的、対話的で深い学び」の視点による授業を実践していく。	○	・ICTを活用して、写真撮影をしたり学習メモをとるなど、主体的な学びに取り組んでいる。 ・PCの活用は、今後にも必要なスキルと考えられる。	
			●「学習のめあて」「今、何を学んでいるか」「今日の学習で何が分かったか」を明確にした授業を行う。	・ノートに自分の考えが書けている。 ・「ふりかえり」から自らの学びが整理されている ・児童の発言が繋がっている。	実施状況アンケート	2学期末	△	・ノートに学んだことのふりかえりを書くことについては、まだ具体的な内容が書けない児童もいる。自らの学びを文章化できるように指導していく。	○			
豊かな心	豊かな心の育成	人権教育を基盤とし、自分も他人も大切にし、お互いに認め合える心豊かな児童を育成する。	・あらゆる教育の場で、子どもの自己肯定感や自尊感情を醸成する。（あいさつ指導の徹底、異学年交流・なかまづくり）	・「自分にはよいところがある」で肯定的評価85%以上 ・「学校は楽しい」で肯定的評価90%以上	集団作りの取組回数アンケート	2学期末	◎	◎	（堺市学調）（学校児童アンケート） ・「自分にはよいところがある」で肯定的評価89.4% ・「学校は楽しい」で肯定的評価97%は、堺市の目標値を上回っている。 ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」肯定的評価94.3% ・「挨拶」「朝読」「茶の湯体験（6年）」に取り組んだ。 今後とも人権尊重を実感できる学校教育を実現していく。 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした、校内委員会の実施、また関係機関との連携により、それぞれの子ども特性に応じた指導・支援が充実した。	◎	・子どもたちは縄跳びなどに取り組む姿が見られた。 ・遅刻が続いている子どもたちが心配である。	
			・「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見に努め、情報共有し、組織的に対応する。	・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」で肯定的評価100%	いじめアンケート 児童観察アンケート	2学期末	○	・いじめの未然防止に向けて啓発授業を実施した。 ・道徳の授業では、振り返りを大切に、自分事としてとらえられる子を増やしていきたい。 ・校内夏季研修で、他校から講師を招き、通級指導教室についての研修会を実施した。	○		○	・校内でのあいさつ運動などの成果も認められるが、地域・登下校でのあいさつは低調である。PTAや保護者を含めたの啓発も考えられる。
			・一人ひとりの道徳的価値観を育む「考え、議論する道徳」の実現を目指し、指導方法の改善を図る。	・道徳の授業・公開授業 ・道徳ノートのふりかえり ・「相手の気持ちやその場の状況を考え、自分の思いをもって行動する」で肯定的評価90%以上	実践報告アンケート	2学期末	○		○		○	
			・特別な教育的ニーズのある児童に対し、全校で支援する体制を構築する。 ・子どもの特性に応じた指導・支援の充実を図る。	・特別支援教育コーディネーターを中心とした、校内委員会の実施 ・特別支援教育校内研修の充実	実践報告	2学期末	○	・特別な教育的ニーズのある児童に対し、全校で支援する体制をとっている。	◎		◎	

健やかな体	健やかな体の育成	健やかでたくましい体を育む。	【体力向上に向けて】 ・体育科授業の充実を図り、十分な運動量を確保する。 ・年間を通して体力づくりを実施する。	・「小学校体育指導の手引」を積極的に活用している ・新体力テストで昨年度本校平均を上回るようにする	実施状況 新体力テストの結果分析	2学期末	○	・体力向上を目指して、年間を通しての体力づくり(大なわ)に取り組んでいる。柔軟性が低い子が多いのが課題である。 ・他校から毎月栄養教諭に来ていただき、食育指導を実施している。(全学年)	○	・「小学校体育指導の手引」を使用し、体育科授業の充実を図ったが、体力向上には至っていない。学校全体で体力向上に向けての意識高揚を図っていききたい。 ・「午後10時までに寝ている」高学年になるほど「いいえ」が増加傾向にある。「朝食を毎日食べている」では、学年によりばらつきがあるものの92%と肯定的評価で昨年度より向上した。	○	・子どもたちは縄跳びなどに取り組んだ。 ・朝ごはんをしっかり食べて元気に登校してきてほしい。
			・家庭と連携し、食育・眠育を軸とした「家での7つの約束」を推進し、基本的生活習慣の確立を図る。(早寝早起き・朝ごはんの定着)	・「午後10時までに寝ている」「朝食を毎日食べている」で肯定的評価で昨年度より上回る	アンケート	2学期末	○		○			
地域協働	信頼される学校	学校・家庭・地域が連携・協働する教育を推進し、信頼される学校づくりに努める。	・学校の教育活動を積極的に公開・発信する。 (校報いちょう、HP、テトル等の活用)	・学校HPの内容の充実と毎日の更新 ・アクセス数の向上を図る (アンケートで肯定的評価80%以上)	実践報告 アンケート	年度末	○	・ホームページやテトルを通して、学校の教育活動を積極的に公開・発信している。 ・地域人材の協力を得て指導の充実を図っている。(町探検、防災訓練、調理実習、どんぐり工作体験など)	○	・学校HPの内容を充実させ、毎日更新することができた。「学校の教育活動の様子を、校報、HP、テトル等でよく知ることができる」で、97.2%の肯定的評価を得た。(保護者アンケート)	○	・防災学習や町たんけん、聞かせ亭など、地域やPTAの方々の協力により、錦西の特色ある学習活動に取り組むことができた。
			・出前講座のプログラムを積極的に活用する。 ・積極的な人材発掘を行い学校応援団を増やす。	・読み聞かせ活動、防災教育、町探検など、地域人材の協力を得て指導の充実を図る	実践報告 アンケート	年度末	○	◎	・地域人材の協力を得て指導の充実を図ることができた。(聞かせ亭、町探検、防災訓練、等)	○	・防災学習では、実物を見て学習を深めることができた。	
校長より(年度末) ・今年度、朝学の充実により、基礎学力の向上が見られるようになった。図書館の開放する時間を増やすことで、貸出冊数は増えたが、まだ家庭読書の時間の増加には至っていない。次年度も読書活動を充実させていきたい。 ・次年度は月州学校群として公開授業を計画している。ICTを効果的に活用し、学びが深まる授業を実践したい。 ・錦西小学校の子どもたちは、無邪気で素直である。地域全体で子どもたちを見守ってくださっているお陰だと感じている。これからも子どもを核として、学校、保護者、地域が連携し、協働して子どもを育てていきたい。								学校関係者評価者から(年度末) 本校の子どもたちは、すなおに育っている。 子どもたちは、自己肯定感をもって学校生活を送ることができている。保護者や地域、学校からの愛情を受けて育っていることがうかがわれる。				